

科目名	解剖生理学Ⅱ	対象学年・時期	1年・前期
講師	非常勤講師	単位数・時間数	1単位・30時間
授業概要	人間のからだはさまざまな組織や細胞・臓器から成り立ち、それらが正常にはたらくことで恒常性が保たれ生命を維持している。看護師は観察から対象の健康状態を判断し、身体が日常生活行動をどのように行っているのかを知ることで対象にあった看護を実践できる。また、生体の構造や機能を知ることは看護技術を適切に実践するために重要である。ここでは、身体や臓器を守るしくみや子孫を残すしくみの観点から人体を系統立てて学習し、健康と疾病、障害の理解の基礎が理解できるように授業を進める。		
授業形態	講義		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体防御に関わる組織の構造と機構、およびそのはたらきについて理解できる。 2. 男性生殖器と女性生殖器の基本構造および生殖機能について理解できる。 3. 人体発生のメカニズムと老化について理解できる。 		
授業計画	<p>1. ガイダンス 解剖生理学を楽しく学ぶために 授業のすすめ方</p> <p>2. 身体機能の防御と適応 <第9章> <ol style="list-style-type: none"> 1) 皮膚の構造と機能 … 1回 2) 生体防御機構 … 3回 3) 体温とその調節 … 2回 </p> <p>3. 生殖・発生と老化のしくみ <第10章> <ol style="list-style-type: none"> 1) 男性生殖器 … 1回 2) 女性生殖器 … 1回 3) 受精と胎児の発生 … 4回 4) 成長と老化 … 2回 </p>		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野「解剖生理学」第11版第4刷 坂井健雄（代表著者）医学書院 【参考書】…適宜、講義内で提示する。講義時に資料を配布する場合もあり。		
事前・事後学修	「解剖生理学Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ」の知識と繋げながら、人体の構造とはたらきの全体像が理解できるよう計画的に予習・復習を行うこと。		
評価基準および評価方法	筆記試験で評価		
備考	この科目は、複数の講師が担当する。担当箇所（担当する単元）については、別途通知する。		